

## 災害に対して、こんな意識を持っていませんか？



「災害」と言われても、正直よく分からない。でも、めったに起こらないし、私や家族はきっと大丈夫。  
うちはご近所付き合いもないし、いざとなれば、自分で逃げればよいよね。

災害は、いつでも、どこでも、誰にでも起こる可能性があります。もしもの時、事前の心構えや備蓄などがあれば、自分の身を守れる確率が上がります。

また、何が起こるか分からない災害時は、地域での助け合いも重要です。



危機管理専門員 江畑 巖弥  
町の災害対応や自主防災組織の活動支援などを専門に担う。



# できていますか 命を守る「万全の備え」

いつでもどこで起きるか分からない災害。身を守るには、防災用品の備蓄だけでなく、災害への「正しい知識」と「心構え」を持つことが大切です。今回の特集では、「万全の防災対策」とは何かを考えます。

問い合わせ 地域づくり課

災害は  
どこで起こるか分かりません

岡垣町はこれまで、人命が失われるような大きな災害は起きていません。しかし、毎年台風や長雨の影響を受け、小規模な崩れや冠水などが発生しています。

近年、全国的に災害は激甚化の傾向にあり、「今まで災害はなかったのに」といった被災者の声が報道されることもしばしばです。

今後、岡垣町も大規模な災害に見舞われる可能性は十分あるため、いざという時、自分や大切な人の命を守るために、日頃からしっかり備えましょう。

### 最も大切なことは、 「避難」です。

災害のおそれがあるときに最も大切なのは、避難することです。命を守るために、全力で「難」を「避」ける必要があります。「災害への備え」とは、「避難するための備え」と言い換えることができます。

そして避難するためには、次の3つのポイントについて、日頃から備えておくことが大切です。

- 正しい知識
- 防災用品の備蓄
- 災害への意識

この機会に、改めて自分の備えが十分にできているか、確認してみませんか。

# 知識 「もしも」の時に慌てないために

## 自宅や勤務先の状況を知ろう 岡垣町総合防災マップ

災害の種類やそれに  
応じた注意すべきポイントなど、災害への事前の備えに役立つ情報のほか、避難場所を確認できる地図を掲載しています。このマップを活用し、災害の正しい知識を身に付けるとともに、自宅や勤務先で想定される災害を把握し、いざというときに冷静に行動できるように備えましょう。



### 土砂災害

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)・土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)のイメージ図

●土砂災害警戒区域を確認しておきましょう!

●土砂災害の種類と前兆現象

- かけ目れ: 傾斜地が崩れ、土砂が落下する。このように崩れれば、土砂が落下する可能性がある。崩れが広がる可能性がある。
- 土石流: 土砂が急激に崩れ、水と混ざり、激しく流れる。このように崩れれば、土石流が発生する可能性がある。崩れが広がる可能性がある。
- 地すべり: 傾斜地が崩れ、土砂が滑り落ちる。このように崩れれば、地すべりが発生する可能性がある。崩れが広がる可能性がある。

### 洪水・土砂・ため池ハザードマップ

洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、ため池危険区域の分布を示す地図。岡垣町の主要な河川とため池の位置が確認できる。

▲「岡垣町総合防災マップ」一部抜粋

岡垣町総合防災マップは、町公式ホームページからダウンロードすることができます。



## POINT 知っていますか? 避難の適切なタイミング

「警戒レベル4」までに  
全員避難してください。

- 警戒レベル4「避難指示」  
危険な場所から全員避難してください。
- 警戒レベル3「高齢者等避難」  
避難に時間がかかる人とその支援者は避難。その他の人も、危険を感じたら自主的に避難してください。



| レベル | 避難行動など    |
|-----|-----------|
| 5   | 命を守る最善の行動 |
| 4   | 全員避難      |
| 3   | 高齢者などは避難  |
| 2   | 避難行動の確認   |
| 1   | 心構えを高める   |

## CHECK 町内の5つの小規模河川において 洪水浸水想定区域が公表されています

近年の大雨や短時間強雨の発生頻度を踏まえ、福岡県は小規模河川の洪水浸水想定区域を指定し、区域図を公表しています。岡垣町では総合防災マップに記載している矢矧川のほか、昨年5月に4つの河川が追加されています。詳しくは県ホームページを見てください。

- 公表されている区域図(令和5年5月時点)
- 矢矧川水系(矢矧川)
  - 汐入川水系(汐入川、野間川、篠間川)
  - 遠賀川水系(戸切川)
- ※白枠部分は現時点の岡垣町総合防災マップに記載がないため、注意してください。



▲県のホームページはコチラ

## 備蓄

### 災害時にも 生活に「安心」を

電気や水道などのライフラインが止まった場合に役立つ備蓄は、特別なものを用意するのではなく、普段の生活の中で利用しているものを活用して備えましょう。

## 効果的な備蓄の例

- 飲料水 3日分(1人1日3Lが目安)
- 非常食 3日分の食料として、ご飯(レトルトやアルファ米など)、パン、乾パン、ゼリー、チョコなど(食べ飽きないよう種類を工夫しましょう)
- 道具・日用品 ラジオ、懐中電灯、電池、手袋、カセットコンロ、紙コップ、トイレトペーパー、ウエットティッシュ、マスクなど

## 点検 も忘れずに

定期的に点検を行い、いざという時に万全の状態で使用できるようにしましょう。

- ラジオや懐中電灯が使える。電池も十分にある。
- 家族構成や人数に合わせた備蓄品がある。  
(例) 小さい子どもや高齢者がいる→紙おむつや柔らかい非常食など
- すぐに持ち出せるようにまとめてある。
- 食品の消費期限は切れていない。ローリングストック法(日頃から非常食を食べ、食べたらいきなり買い足す行為を繰り返し、常に新しい非常食を備蓄する方法)を活用しましょう。

## 意識

## 家庭で話して「災害への意識」を高めよう

普段から家庭などで災害について話をすることで、災害への意識を高めることができます。買い物や散歩の際に、避難経路や避難場所を歩きながら確認したり、安否確認の手段や集合場所などを話し合ったりしておきましょう。



災害の影響で携帯電話がつながりにくいときは、以下のサービスが利用できます。

- 災害用伝言ダイヤル 局番なしの「171」に電話を掛けると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている人が伝言を再生できます。
- 災害用伝言板 携帯電話などからインターネットを使って書き込んだ内容を、自分の電話番号を知っている人が閲覧できます。

## POINT

## 地域ので命を守る

災害の時は、自力で避難できない人がいる場合もあるため、近隣同士で声を掛け、助け合うことが、多くの命を守ることに繋がります。普段から円滑なコミュニケーションがとれる人間関係を築いておきましょう。

また、各自治区や校区などで行われる防災訓練や避難訓練に参加してみましょう。防災について考え、話し合うことで、それぞれの地域の実情に沿った防災が見えてきます。



## 防災力を高める3つの「助」

災害への備えは、知識・備蓄・意識が三位一体となって初めて強固なものになります。また、それぞれの取り組みは、「自助」「共助」「公助」の3種類に分類することができ、それぞれが互いに連携することで、災害時の大きな力になります。

### 自分の命を自分で守る取り組み

- 防災の知識を身に付ける
- 備蓄を行う など

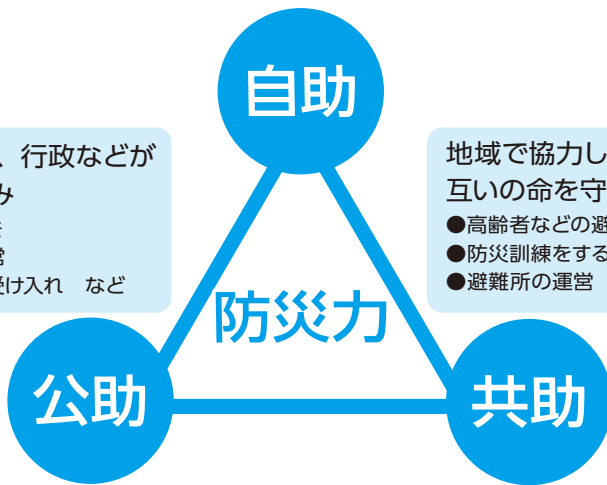
今一度、家族や地域の人と防災について考え、いざという時に命を守れるよう、しっかり備えましょう！

### 消防や警察、行政などが行う取り組み

- がれきの撤去
- 避難所の設営
- 救援物資の受け入れ など

### 地域で協力して互いの命を守る取り組み

- 高齢者などの避難を手伝う
- 防災訓練をする
- 避難所の運営 など



## 防災情報 お役立ちツール



### ●岡垣町公式ホームページ・LINE・Facebook

避難情報のほか、公共施設の休館情報などを発信しています。また、ホームページのトップ画面では緊急情報も確認できます。



### ●でんたつくんの戸別受信機

災害時には、町から避難情報などを放送します。受信状態を事前に確認しておきましょう。操作方法などは町公式ホームページをご覧ください。



### ●気象庁ホームページ

雨雲の動きのほか、警報が発表される可能性がある現象や時間帯を5日先まで予測した「早期注意情報」を確認できます。



### ●テレビのデータ放送

リモコンのdボタンを押すと「データ放送」を視聴でき、最新の気象情報・避難情報を確認できます。※放送局によって、確認できる情報は異なります。

### ●防災メール・まもるくん

福岡県が防災気象情報（地震・津波・台風・大雨など）や避難情報を発信するメールサービスです。



### ●福岡防災ナビ・まもるくん

福岡県防災アプリです。「現在地」や、登録した場所の気象警報・避難情報などの配信をしています。

